

令和6年度 三木市男女共同参画に関する市民意識調査報告書 - 概要版 -

調査の目的

本調査は、平成30年度から令和6年度を計画期間とする「三木市男女共同参画プラン（第3次）」の改訂にあたり、男女共同参画に関する市民の意識や意向、ニーズを調査分析し、次期プラン策定の基礎資料とすることを目的として実施した。

調査概要

調査対象：18歳（令和5年9月1日現在）以上の市民2,000人
 調査方法：郵送による配布、郵送もしくはインターネットによる回答を回収
 調査期間：令和5年9月8日～9月30日
 有効回収数(率)：646件（32.3%）

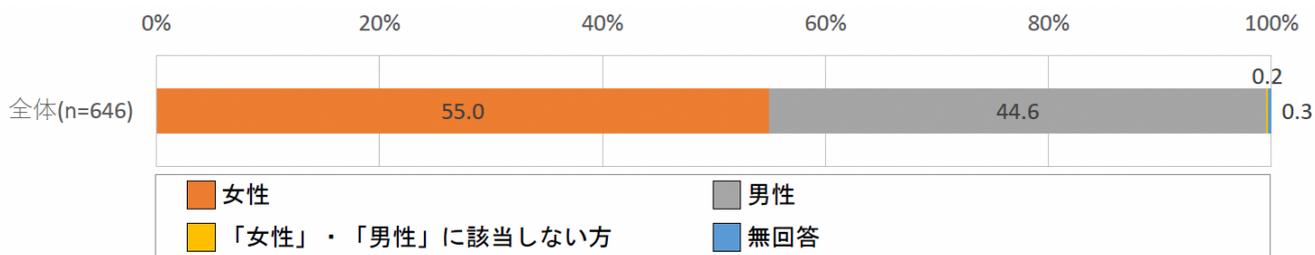
調査内容

- ・家庭生活について
- ・男女平等に対する考えについて
- ・働き方・女性の活躍について
- ・人権の尊重について
- ・LGBTQ+について
- ・地域や市の施策などへの女性のかかわり方について
- ・「男女共同参画社会」の実現に向けた施策について

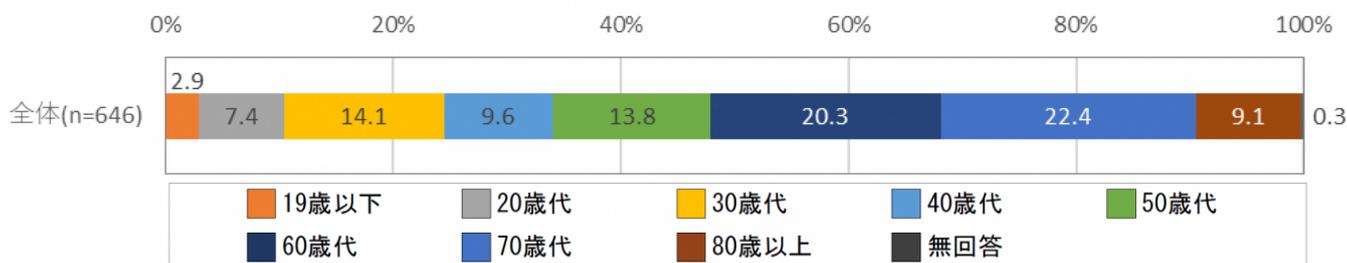
調査結果

1. 回答者自身について

性別では、「女性」が55.0%と最も高く、「男性」が44.6%と続いている。



年齢では、「70歳代」が22.4%と最も高く、「60歳代」が20.3%、「30歳代」が14.1%と続いている。

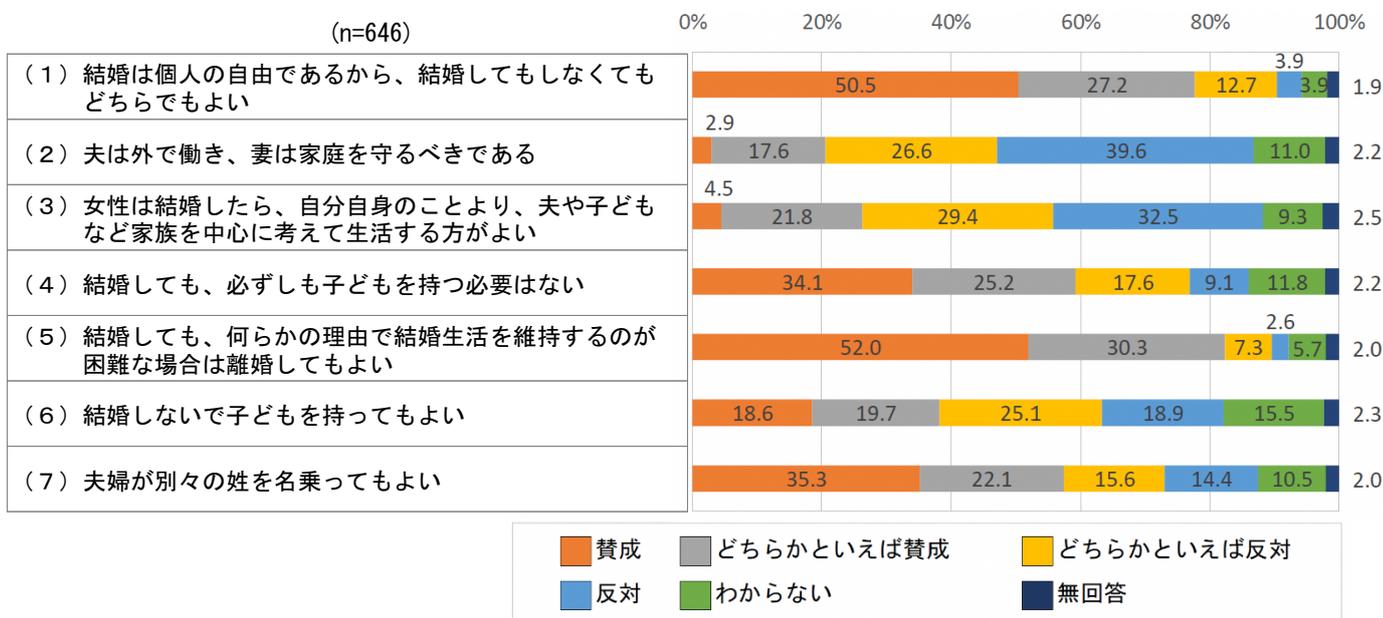


2. 家庭生活について

結婚、家庭、離婚について、あなたの考えに近いのはどれですか

「賛成」の割合をみると、＜（５）結婚しても、何らかの理由で結婚生活を維持するのが困難な場合は離婚してもよい＞が52.0%と最も高くなっている。

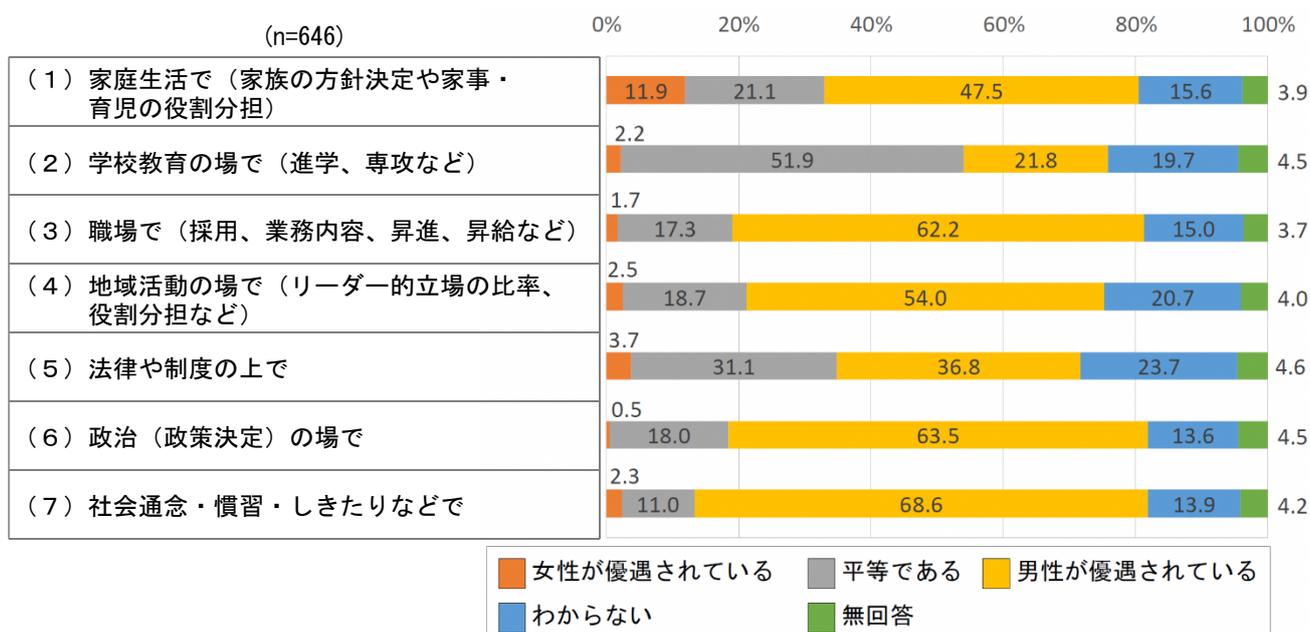
また、「反対」の割合をみると、＜（２）夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである＞が39.6%と最も高くなっている。



3. 男女平等に対する考えについて

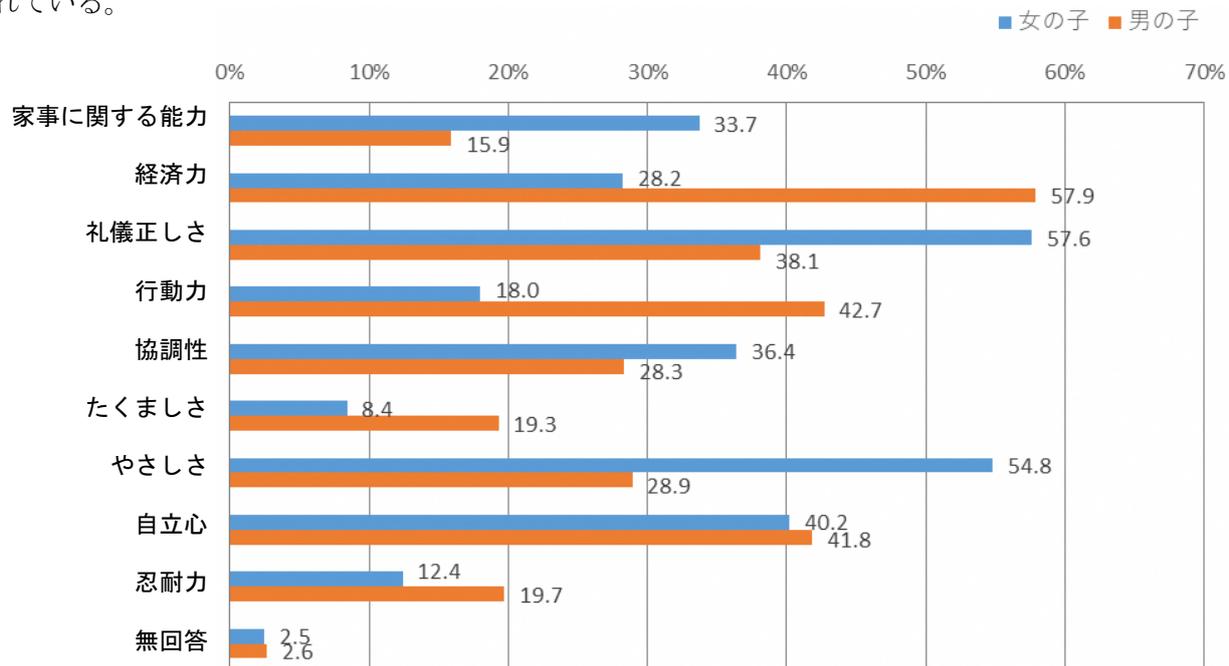
現在の日本社会は、どの程度、男女が平等になっていると思いますか

＜（２）学校教育の場で（進学、専攻など）＞を除くすべての項目で「男性が優遇されている」の割合が最も高くなって、特に＜（３）職場で（採用、業務内容、昇進、昇給など）＞、＜（６）政治（政策決定）の場で＞、＜（７）社会通念・慣習・しきたりなどで＞では、6割を超えている。



あなたは子どもにどのようなことを身につけてほしいと思いますか。

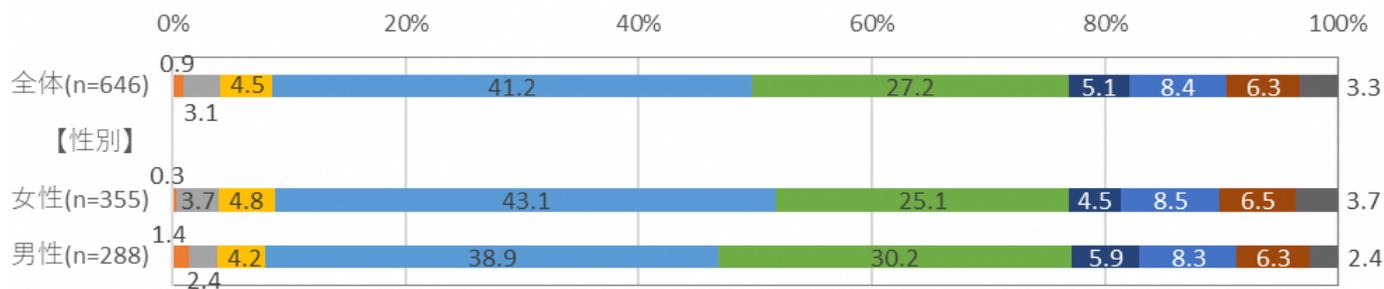
性別による期待をみると、女の子には「礼儀正しさ (57.6%)」「やさしさ (54.8%)」「協調性 (36.4%)」「家事に関する能力 (33.7%)」が期待され、男の子には「経済力 (57.9%)」「行動力 (42.7%)」が期待されている。



4. 働き方・女性の活躍について

あなたは女性が仕事をもつことについてどう思いますか

全体では、「ずっと仕事を続ける方がよい」が 41.2%と最も高く、「子どもができたなら仕事をやめて、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が 27.2%、「仕事を続けていても家族の介護が必要になったらやめた方がよい」が 5.1%と続いている。

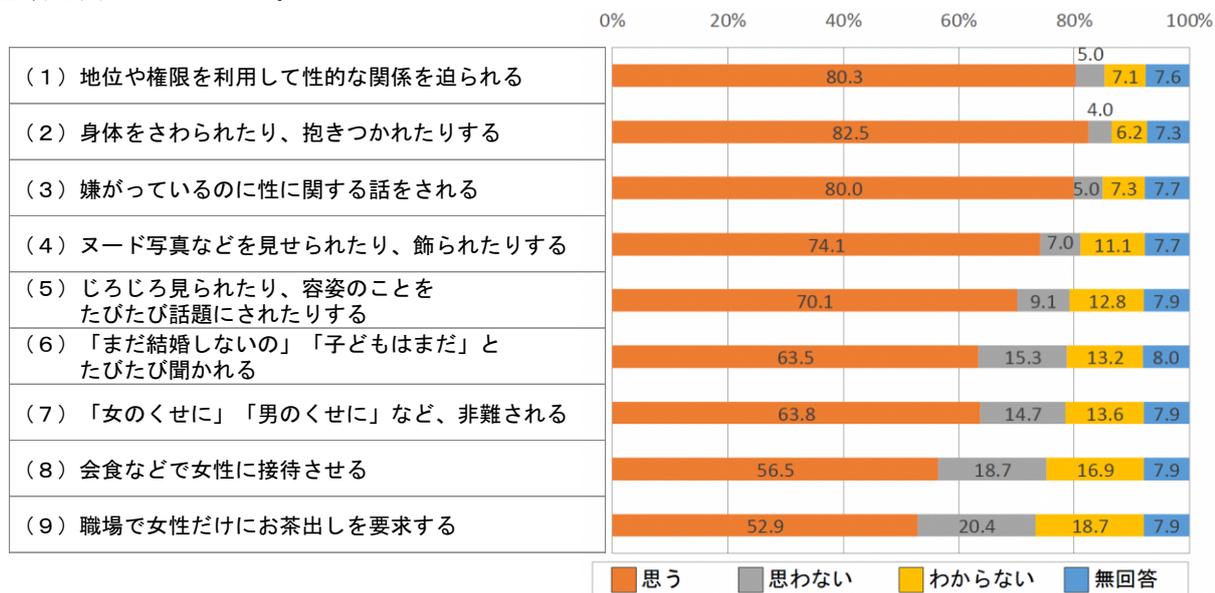


- 女性に仕事をもたない方がよい
- 結婚するまでは、仕事をもつ方がよい
- 子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい
- ずっと仕事を続ける方がよい
- 子どもができたなら仕事をやめて、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい
- 仕事を続けていても家族の介護が必要になったらやめた方がよい
- その他
- わからない
- 無回答

5. 人権の尊重について

あなたは、職場や地域社会、学校などで次のようなことがあった場合、セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）といえると思いますか

「思う」の割合をみると、＜（２）身体をさわられたり、抱きつかれたりする＞が82.5%と最も高くなっている。また、「思わない」の割合をみると、＜（９）職場で女性だけにお茶出しを要求する＞が20.4%と最も高くなっている。



6. LGBTQ+について

あなたの身近な人から、LGBTQ+であることを打ち明けられたら、受け入れられますか

【同性愛者の場合】と比較すると、【トランスジェンダーの場合】は「家族でも友人でも受け入れられる」の割合が高くなっている。

性別でみると、【同性愛者の場合】も【トランスジェンダーの場合】も、男性と比較して女性は「家族でも友人でも受け入れられる」の割合が高くなっている。

